

地域プラットフォーム導入の目的

佐世保市では、平成28年4月1日の中核市移行を踏まえ、西九州北部地域における「連携中枢都市圏」の形成に取り組んでいる。「佐世保PPPプラットフォーム」は、この広域連携に関連して、官民連携事業を着実に推進するための仕組みの一つとして形成されたものである。本取組は、佐世保市および西九州北部地域において必要となるPPP/PFI事業の創出と推進を目的として、PPP/PFI事業に係る情報提供や民間と対等な立場で意見交換を行う場を常設するために地域プラットフォームを形成するものである。

背景・課題と対応の方向性

①市の背景・課題(PPP/PFIに取り組む理由)

- 厳しい財政状況のなかで公共施設の整備、管理・運営、および公共サービスの提供を効果的・効率的に維持・提供する手段の一つとして、PPP/PFIの取組みが急務となっていた。
- 佐世保市では、市のみならず周辺市町を加えた西九州北部地域(*)において人口減少が予測され、同地域における人口減少対策や地方創生の取り組みを進める具体方策の一つとして、広域連携に取り組んでいる。この広域連携を進めるうえでは、民間の活動の延長にある広域連携が重要視されていることから、官民連携を推進する必要があった。



②PPP/PFIに取り組む上での課題(地域プラットフォームを形成する理由)

- 佐世保市だけでなく、周辺の自治体や民間事業者におけるPPP/PFI事業の実績は乏しく、同事業を着実に推進するには、関係する官・民を巻き込む仕組みを検討・構築する必要性があった。

③地域プラットフォーム形成に向けた取組み計画の策定

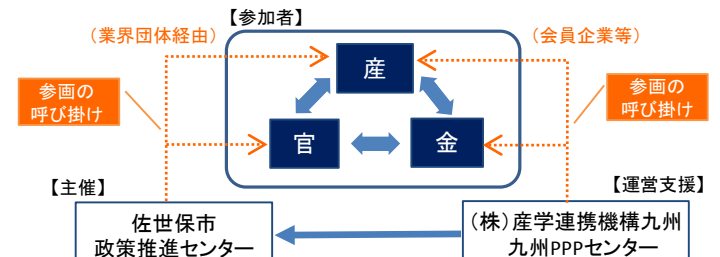
- 中長期的な進め方
平成28年度は佐世保市における地域プラットフォームを設置するものであるが、平成29年度は西九州北部地域の官民に対する参画促進を図り、その後、域内における広域の地域プラットフォーム形成を目指すものとした。
- 平成28年度の進め方
 - <ステップ①>「プラットフォーム準備会(庁内勉強会)」の開催
全庁的なPPP/PFI事業に対する理解や意識の底上げを図るとともに、地域プラットフォームに対する必要性の共有を図る。
 - <ステップ②>「PPP/PFI事業形成支援講座」の開催
具体的な案件形成に取り組む実務担当者に対して、実務的・実践的な支援を行うことによりPPP/PFIを導入した事業形成の促進を図る。
 - <ステップ③>「第1回佐世保PPPプラットフォーム」の開催
民間事業者における地域プラットフォームに対する必要性の理解やPFI事業に対する参画の意欲、事業遂行力の向上等を図る。また、官民対話の模擬体験を通じ、事業初期から官民連携で進めるメリットや重要性の共有を図る。

実施体制

①参加者:以下団体を中心に参画を呼び掛け、希望者は全て参画可能

産: 西九州北部地域のPPP/PFI事業に興味のある民間事業者
 官: 西九州北部地域の地方公共団体
 金: 親和銀行、十八銀行(長崎県第一地方銀行)
 長崎銀行(長崎県第二地方銀行)

②体制



具体の実施内容

プラットフォーム準備会(庁内勉強会)

第1部：官民協働事業等庁内勉強会(H28/11/28)

- 【参加者数】50名(市職員)
 【目的】佐世保市の広域連携の取組み、及び地域プラットフォームの必要性を庁内で共有
 【内容】
 1.佐世保市の取組みについて(佐世保市)
 2.地域プラットフォームについて(九州PPPセンター)
 3.PFI手法の導入効果(九州PPPセンター)

第2部：PPP/PFI 入門講座(H28/11/28)

- 【参加者数】58名(市職員+業界団体事務局等)
 【目的】PPP/PFIに係る基礎的理解の深化
 【内容】
 1.PPP/PFI概論(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
 2.PPP/PFI事業の実務(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
 3.PPP/PFI事業の事例紹介(九州PPPセンター)

PPP/PFI 事業形成支援講座

H29/1/23~H29/1/25

- 【参加者数】自治体職員31名(20自治体)
 【目的】実務担当者に対する実務的・実践的な支援を通じ、PPP/PFIを導入した事業形成を促進
 【内容】
 ●講義
 「PPP/PFI手法の導入」
 「PFI事業のファイナンス」
 「VFM算定について」
 「PFI手法の導入効果～具体的な事例より～」
 「PFIの流れと公表資料を作成する上でのポイント」など、その他4講義
 ●個別案件相談会
 所管事業に係るコンサル会社への個別相談
 ●ワークショップ
 マーケットサウンディング調査の模擬体験、実施方針策定の模擬体験

第1回佐世保PPPプラットフォーム

第1部：PPP/PFI 入門講座(H29/2/15)

- 【参加者数】33名(自治体職員+民間)
 【目的】PPP/PFIに係る基礎的理解の深化
 【内容】(プラットフォーム準備会と同じ)

第2部：全体セミナー(H29/2/15)

- 【目的】地域プラットフォームの必要性の共有など
 【内容】1.PPP/PFIの推進に向けた国の取組み(内閣府)
 2.福岡市におけるPPP/PFIの取組み(福岡市)
 3.佐世保市におけるPPP/PFIの取組み(佐世保市)

第3部：全体セミナー・ケーススタディ(H29/2/17)

- 【参加者数】56名(自治体職員+民間)
 【目的】官民対話の模擬体験など
 【内容】
 1.地域企業におけるPPP/PFI事業の取組み(楸俊設計)
 2.名切地区再整備について(佐世保市等)
 3.ケーススタディ「名切地区再整備に係る意見交換」

事業の成果

- 官民双方に対する「PPP/PFI入門講座」の実施を通じた、PPP/PFIに関する基礎知識の習得
- 意見交換等を通じた、民間事業者の事業参画意欲の向上
- 全体セミナーの実施を通じた、佐世保市における官民連携並びに地域プラットフォームに係る必要性の共有
- 「PPP/PFI事業形成支援講座」の実施を通じた、参加自治体におけるPFI事業の推進

事業で得た課題

- PPP/PFIに係る庁内の機運や知識等の更なる向上
- 事業のプレーヤーとなりうる地域企業の育成
- 企業間交流の促進
- 継続的な案件供給
- 広域運営スキームの確立

今後の活動計画案

- 本事業で得た課題等を踏まえ、市のPPP/PFI事業を推進する「佐世保PPPプラットフォーム」と西九州北部地域における知識等の底上げや広域連携に関連したPPP/PFI事業を推進する「西九州北部地域プラットフォーム(仮)」の2つの地域プラットフォーム運営を今後検討する。

